

心理、教育、福祉、社会学を専攻する皆様へ

国家公務員採用総合職試験「人間科学区分」を受験して、

国家公務員を目指しませんか？

人間科学区分とは、心理学、教育学、福祉及び社会学に関する知識、技術又はその他の能力を必要とする業務に従事する職員を採用するための試験区分です

* 申込から採用までの流れ * [平成29年度総合職試験の場合]

2月 受験案内を人事院HPに掲載

お忘れのないよう、期間内にインターネットからお申込みください！

3/31～4/10 インターネットによる受験申込

多肢選択式による基礎能力試験（公務員として必要な基礎的な能力を問う試験）、多肢選択式による専門試験（心理学や教育学、福祉、社会学に関する専門的な知識を問う試験）を行います。受験者の専攻に応じて科目を選択できます。

4/30 第1次試験 多肢選択式

5/12 第1次試験合格者発表

記述式による専門試験（心理学や教育学、福祉、社会学に関する専門的な知識を問う試験）を行います。受験者の専攻に応じて科目を選択できます。
大卒程度試験では、政策論文試験（政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力を問う試験）も行います。

5/28 第2次試験 記述式

5/30～6/16 第2次試験 人物試験等

（院卒者試験）
政策課題討議試験（グループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を問う試験）、人物試験を行います。
（大卒程度試験）
人物試験を行います。

6/30 最終合格者発表

官庁訪問

官庁訪問は、志望する府省等に関する知識を深めるとともに、採用に向けての自己PRの重要な機会となります。積極的に官庁訪問をしてください。

10/1以降 採用内定

【◆近年、人間科学区分から採用しているのは以下の府省です！◆】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
法務省	14	14	13	12	16
厚生労働省	4	3	4	4	6
文部科学省	1	—	—	5	1
警察庁	1	1	1	1	—
公安調査庁	—	—	1	1	—
会計検査院	—	—	—	1	—
内閣府	—	—	—	1	—
総務省	1	—	—	—	—

【◆過去4年間の申込者数、第1次試験合格者数及び最終合格者数◆】

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
申込者数	831	677	625	619	653
第1次試験合格者数	113	108	144	146	158
最終合格者数	60	58	76	76	82

先輩職員からのメッセージ



宮崎 悠華

プロフィール

平成13年	法務省矯正局採用（I種心理区分） 東京少年鑑別所
平成16年	八王子医療刑務所
平成21年	人事院人材局試験専門官室
平成24年	矯正研修所東京支所
平成27年	東京少年鑑別所鑑別指導官

「人はどのように困難を乗り越えていくのだろう。」という疑問が出発点となって心理学を学ぶうち、非行や犯罪は生きていく上での困難の現れでもあると思い、それを乗り越えていく過程に携わる仕事を志すようになりました。

入省後3年間、少年鑑別所で非行をした少年たちに面接等を通して関わりました。彼らの不遇な立ち立ちや傷つきの大きさに心揺さぶられたり、その生きる力に逆に力をもらったりと、少年たちとの関わりそのものがとても貴重なものでした。また、転勤した医療刑務所では、心身に大きな困難を抱える受刑者に接し、改善更生に必要なことについて深く考えさせられました。

その後、育児休業を経て、人事院で採用試験関係業務に携わり、研修支所で教官としても勤務しました。矯正の現場を離れましたが、期待される心理の専門性などについて考える貴重な機会となり、鑑別指導官としての今の仕事にもつながっていると感じます。

現在は、鑑別や外来相談のケースを担当しながら、若手職員の指導に当たっています。どのような勤務先、立場であっても、人との関わりの中で心理の専門性を生かせることがこの仕事の大きな魅力です。皆さんのチャレンジをお待ちしています。

様々な人と関わり、社会に貢献できる仕事がしたいと漠然と考えていたところ、当時専攻していた社会学に関連した専門職として保護観察官という仕事があるということを知り、法務省を志望しました。

現在、保護観察所で犯罪や非行をした人たちの社会内での立ち直りを支援する仕事をさせていただいています。社会内での立ち直りを支援するためには、犯罪や非行をした人たちとの一対一の関係だけではなく、同じ社会で生活する多くの人たちの理解と協力を得ることが不可欠です。人間科学の知識を生かす専門家ということではありますが、狭い自分の考えや知識に固執することなく、一人の人間として多くの人たちに寄り添い、関わる中で人と考えや気持ちを分かち合っていくことがこの仕事をしていく上でとても大切だと思います。

人の人生、社会の安全に関わるという責任が重く、大変な仕事ではありますが、その分やりがいを感じられる仕事です。柔軟な発想としなやかな感性を持った皆さんの中から、一人でも多くの方に、この仕事にチャレンジしていただけることを期待しています。

採用後の一般的なキャリアパスについて ～法務省人事担当より～

法務省では、矯正局及び保護局において人間科学区分の採用を行っています。

人間科学区分で採用された方は、採用後1～3年は採用局の地方機関で勤務し、その後も採用局の地方機関での勤務を中心しつつ、本人の希望や適性などに基づき、おおむね1～3年のサイクルで、法務本省や他府省庁での勤務、矯正・保護の人事交流などの経験も積むことができます。

この区分で採用された職員には、優れた専門性と現場感覚を活かした政策の企画・立案が期待されています。



林 寛之

プロフィール

平成10年	法務省保護局採用（I種社会区分） 東京保護観察所
平成12年	法務省保護局総務課法規係
平成15年	浪速少年院専門官
平成17年	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導第一係長
平成20年	東京保護観察所 処遇第一部門主任保護観察官
平成22年	府中刑務所教育部門統括矯正処遇官
平成23年	府中刑務所分類審議室統括矯正処遇官
平成24年	法務省保護局更生保護振興課法務専門官
平成27年	大阪保護観察所 処遇第一部門統括保護観察官



堀家 健一

プロフィール

平成23年	文部科学省 大臣官房政策課採用 (I種人間科学I(心理系)区分)
平成24年	文化庁長官官房政策課
平成26年	初等中等教育局 初等中等教育企画課専門職

私は現在、文部科学省の初等中等教育企画課で勤務しています。主な業務は公立学校教員の身分や服務に関する企画・立案についてですが、その中でも現在「チームとしての学校・教職員の在り方」に関する議論を担当しています。

学校現場に求められるものが複雑化、多様化し、教員が授業に専念することができない状況がある等の問題が指摘されています。こうした課題に対応するため、教員と多様な専門性を有するスタッフが業務を連携・分担し、チームとして職務を担い、一人一人の子供の状況に応じた教育を実施するための学校組織や教職員の在り方について、検討を進めています。

文部科学省の仕事は、教育・科学技術・文化・スポーツと様々な分野で、日本の将来に種をまく仕事です。成果が出るまでに時間のかかる分野ですが、自分たちが作り上げていく制度が、各現場で頑張っている人たちを支え、日本の将来を担う人材を育てることにつながっていると考えると、その責任の大きさと可能性の大きさを感じます。

国の政策立案においては、ミクロな視点だけでなく、マクロな視点に立った議論が必要です。その中で、人間科学分野の出身である私は、「人間」に関するミクロな視点からの専門性を併せ持ち、より国民目線、現場目線の行政となるよう、貢献していければと思います。

意欲と能力のある皆様と一緒に働けることを楽しみにしています。

採用後の一般的なキャリアパスについて
～文部科学省人事担当より～

文部科学省の場合、試験区分にかかわらず、採用後は本人の希望や能力・適性などに応じて、概ね1～2年のサイクルで人事異動を行い、本省（文化庁、スポーツ庁、施設等機関等を含む）や他府省庁への出向、地方自治体や国立大学法人等との人事交流、在外公館等での海外勤務などを通じて、様々な業務に関わりながら経験を積んでいただくこととなります。

大学入学の時から、将来は心理学を活かした仕事をしたいと考えていました。カウンセラーなど、直接相談者と話をする仕事もいいなと思いましたが、より多くの人々が、より良い人生を送れるように自分にも何かできればと思い、1億2千万人を対象にできる国家公務員を志望しました。

現在は厚生労働省職業安定局に勤務しており、生活保護受給者や生活困窮者、ひとり親の方の就労を支援しています。区役所や市役所の中にハローワークの職業紹介窓口を設置する等、自治体と一体となった就労支援を行っています。

国家公務員の仕事は、法律の知識を使って仕事をするというイメージがあると思いますが、人間科学職という職種があるということは、政策立案に心理学や教育学、社会学的な知見が求められていることの表れだと思います。厚生労働省は、困っている人に寄り添い、いつも誰かのためにこと思いつながりながら働けるところです。今後の人生の選択肢に入れてもらえれば幸いです。



浦上 晴香

採用後の一般的なキャリアパスについて
～厚生労働省人事担当より～

採用後は、概ね2年単位で厚生労働省本省内の雇用政策に関する企画立案等の業務や都道府県労働局・ハローワークに対する業務運営の指導を行う部署への異動を繰り返します。なお、採用1年目に全員半年間の都道府県労働局やハローワークの勤務を経験する機会があります。また、概ね採用5年目から本省係長級に、採用10年目程度で本省課長補佐級へと昇任し、以降は本人の適性と能力により本省課室長クラスへ昇任し、活躍が期待されています。さらに、この間都道府県労働局へ幹部職員として勤務したり、在外公館や国際機関への出向・派遣等の機会もあります。

プロフィール

平成25年4月	厚生労働省採用（総合職人間科学区分）
平成25年10月	北海道労働局
平成26年4月	職業安定局総務課
平成27年4月	職業安定局派遣・有期労働対策部企画課就労支援室

* 人間科学区分の受験を目指す方へのメッセージ *



府省名	メッセージ
法務省	心理の専門性を活かし非行少年の資質の鑑別等をする法務技官、情熱を持って少年と関わり、「育て直し」によりその未来を支える法務教官、罪を犯した人たちが同じ過ちを繰り返さないよう、かつての自分に向き合わせながら、その今に寄り添い、未来を想う保護観察官。 法務省で専門性を活かして、再発防止に向けた企画立案と目の前にいる「人」を大切にすることに携わりませんか。
厚生労働省	厚生労働省の人間科学職は「人」に関わる政策立案等の仕事、特に「人」のキャリア(職業生涯)に関わる幅広い仕事に従事しており、専門性を活かしつつ多様なステージで活躍が期待されています。この「人」に関する様々な課題の解決に向けて、どうアプローチしていくかを考え、困っている人や悩んでいる人、ひいては社会の役に立てるという実感は、大きなやりがいであり魅力です。「人」に関心を持ち、学んできた皆さんの積極的な応募をお待ちしています。
文部科学省	「人」を育て、「知恵」を生み出し、「未来」の基盤を創っていく文部科学省には、日本のより良い未来のために力を尽くしたいと考える人のための仕事があります。その実現には多様な人材が必要です。我が国の「未来」を創る仕事に興味のある方は、試験の区分にかかわらず、是非文部科学省の門を叩いてください。
警察庁	警察庁科学警察研究所では、人間科学分野の専門的な知識・技術を、犯罪捜査・犯犯対策・交通安全などの推進に活かすための研究を行っています。鑑定や都道府県警察への技術指導などを通して、研究成果を広く社会に還元できます。採用は不定期ですが、国民の安全と安心のための仕事を志す、熱意のある方をお待ちしております。
会計検査院	人間科学分野を専攻する方を含め、検査業務に興味のある方は、どなたでも歓迎します。会計検査院は、これまでも「人間科学」区分の合格者を採用しております。様々なことに興味や関心を持つことができ、かつ、小さな疑問でもそのままにせず追究していくことができるような、幅広い探究心のある方の受験を期待します。
内閣府	内閣府は年々新しい政策課題が追加されているため、業務範囲が幅広く、様々なバックグラウンドを持つ多様な人材を求めています。どんな政策課題にも積極的にチャレンジできる方を、出身学部や試験区分にかかわらず歓迎します。
総務省	総務省は、日本全国にわたる基本的な仕組みから、国民の経済・社会活動に関わる諸制度を担う国家の根本を支えます。幅広い分野を所管する当省は多様な人材を歓迎します。是非、総務省に足をお運びください。皆さんとお会いすることを楽しみにしております！
人事院	人事行政分野において、大学・大学院で学んだ専門的な知識だけでなく、自らの能力・経験を活かしたいという考えを持ち、行政官として新しいことに挑戦できる方が受験されることを期待しています。
金融庁	金融行政のプロフェッショナルとなるポテンシャル・意欲のある方の訪問を歓迎します。
外務省	外務省では試験の区分にかかわらず、外交政策に関心があり、熱意と能力のある方を歓迎します。
財務省	財務省本省では多様な人材を求めており、試験区分にかかわらず採用しています。入省前に経済・財政の詳しい前提知識は不要です。社会の問題を自分の問題と捉える公共心と、その問題に立ち向かっていく志を持つ人を募集しています。ぜひ一度職員の話聞きに来てください。
経済産業省	経済産業政策は、多様な人材が折り重なってこそ政策を紡ぎ上げることができます。試験区分にかかわらず、あらゆる角度から社会への問題意識を持ち、広い視野と行動力のある皆様をお待ちしております。我が国の課題を自分ごととして捉えて、真正面から取り組もうという意志のある方が受験されることを期待します。
国土交通省	国土交通省は、試験区分の別なく、意欲と能力のある人材を求めています。ともにこの国を作り上げていく熱意のある方のチャレンジをお待ちしています。

★試験の内容や採用の最新の情報はこちらから★

- 国家公務員試験採用情報NAVI (人事院HP) <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>
- 国家公務員試験採用情報Facebook <http://www.facebook.com/jinjiin.saiyo>
- メールマガジンへの登録 <http://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga/mailmagazine.htm>



(連絡先) 人事院人材局企画課 〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3
電話: 03-3581-5311 (内線 2311)